

夫



ひょうたん鯰

スナツプ印象派

ひょうたん鯰



スナツプ

ひょうたん鯰

スナツプ印象派

印象派

ひょうたん鯰

印象派

II

セレクト再掲載

お、おっすべった!



©ヨコヤマ



ヤフーブログからセレクト転載、スナップ印象派、ツイッターノベル、おもしろ印象派などジャンルいろいろ、オリジナル写真も多数掲載して、よみやすいe-hon（閲覧無料）です。ダウンロードもOK！URLからアクセスしてぜひ。

Puboo ブログ e-hon 『ひょうたん鯨』（13Titleから増殖中〜♪♪）

<http://p.booklog.jp/users/axros03>

:

下記は閲覧ページの一部です、ダウンロードしてお暇なときにお読みください。

≒140字物語 ひょうたん鯨

<http://p.booklog.jp/book/118396/read>

ひょうたん鯨：1

<http://p.booklog.jp/book/19047/read>

ひょうたん鯨：2

<http://p.booklog.jp/book/34561/read>

おもしろ印象派

デジ撮！オリジナル「新・おもしろ画像」と「印象記」ア・ラ・カルト。珈琲タイムに、見て読んでニュートラルなひとときを、ぜひ！

<http://p.booklog.jp/book/19408/read>

スナップ印象派：1

<http://p.booklog.jp/book/61780/read>



「顔はブスだけど」と、大家さん*3の話は続く。

：

菊池寛は讃岐の人（よく知らないが多分高松生まれ）、

出身小学校（少子化による統廃合で近年廃校になった）が近くにある。

どこかに銅像が建っている筈だが見あげたことはない。

その昔、教科書に短編が幾つか載っていて、授業で読んだ。

いずれの短編も、起承転結とコンセプトが明快な作品だった。

：

外見を論（あげつら）うと、菊池寛は醜男（ぶおとこ）である。

10年近く前、

西田敏行が菊池寛を演じた映画、『丘を越えて』（2008）を観たが、

スケベで金満な感じがよく似合っていた。主演は池脇千鶴だった。

：

直木三十五*1にたかられていたとか、

賭けマージャン好きだったのは有名な話で、警察に賭博現行犯で逮捕されて、

新聞紙面（当時の記録が残っている）を騒がしたこともあった。

文藝春秋社（大正12年）を興したことは、出版界の歴史にのこる功績。

ここが発行する、`文春砲、で名を馳せた週刊文春は、

菊池寛のDNAを受け継いでいるのか、ちょっと気になるところ。

blogに掲出した一コマはライバル誌の週刊新潮連載。

漫才コンビの相方が描いた漫画で、手塚治虫文化賞（短編賞）を貰っている。

新刊したばかりの単行本も人気が高く、

先日出かけたTSUTAYA書店では売上げ2位*2にランクされていた。

：

漫画『大家さんと僕』（矢部太郎作画 手塚治虫賞）

*1 直木三十五／1923年（大正12年）『文藝春秋』創刊に参加して文壇ゴシップ欄を担当、毒舌で話題を呼んだと`コトバンク、に。また百科擬（もど）きの`Wikipedia、（書き込み自由）には、1925年、マキノ省三郎（マキノ・プロダクション）に居候（たかっていた）。マキノ邸全焼の際に`恩を仇で返す言動、があったと書き込まれている。Wiki社による、出典要請のチェックが付けられていないので事実と思われる。

・・・といった背景から、菊池寛は直木三十五に賭けマージャンのカモにされていたと推測。以前、その辺りと直木賞を絡ませたツイノベ（#twonovel）を何題か書いた。

*2 お！置いてあるよ図書館（高松中央）に、漫画『大家さんと僕』。既に予約数第2位の184人、最大2週間借りられるから、それだと今予約して手もとに届くのは・・・ううっ！市内4館で所蔵しているのでそんなには待たせないか。

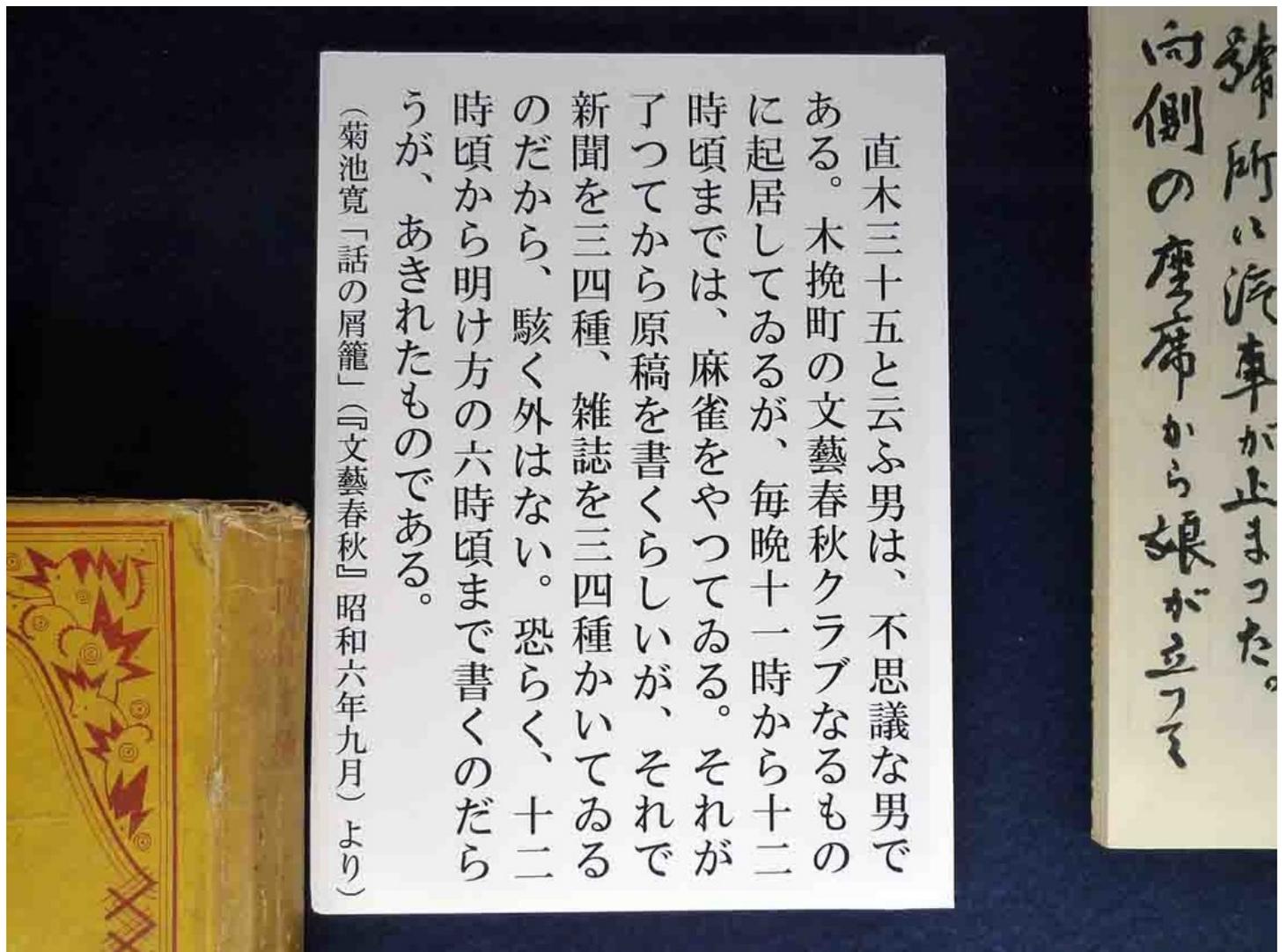
*3 この8月（2018年）、大家さんが亡くなったと作者。1928年（昭和3年）生まれ、享年90歳。ちなみに私の義母は大家さんと2つ違いの昭和5年生まれ、相変わらず元気ハツラツ。漫画の方は最終回まで描かれているようだから、ほどなくして終わるのか。

:

My blog : if Frankie plays Naoki

<https://blogs.yahoo.co.jp/axros03/48429776.html>

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



菊池寛と直木三十五と麻雀と

麻雀 (Mahjong) . . . 。知的ゲームで賭博性があり、しかも卓上の闘いに人間性がさらけ出される。ちょっとばかし怖い遊びなのだ。戦後、本格的に流行り始めた麻雀、最初に飛びついたのは大学生やサラリーマンだったが、またたくまに社会を席卷して一大ムーブメントを。麻雀が強い人、弱い人というヒエラルキー（階級）が暗黙裏に形成された、少なくとも感じていた。大正から昭和の同時期を生きた菊池寛*1と直木三十五、その関係は社主（文藝春秋）と物書き（小説家）というもので、確固とした上下があったが麻雀では、さてどうだっただろう？といった推測（考察）*2をもって書いたのがこのツイノベ（≒140字小説：小話）だ。

*1 日本麻雀連盟の初代総長にして重鎮（鈍重という意味もあり）と称されているが、麻雀が上手い訳ではない（と理由もなく確信している）。総裁は名誉職、よろこんで拝命する、と本人も述懐している。ちょっとおっちょこちょいなルックス（私だけの主観）の菊池寛は、明治21年（1888）、香川県高松市生まれ、小説家、文藝春秋社を興している。同時期を生きた人に芥川龍之介、直木三十五など。

*2 麻雀のつよいオトコに畏怖の念を抱く。菊池と直木は麻雀（賭け）をしていた、負けていたのは菊池だった。

Chapter①
直木賞

ロンだそれ、ダブル役満、天井なしで三十五万点だぜ！またかよ直木、おればっか狙い撃ちしてんじやないの？んなことねえよ菊池、てめえがヘタなだけだ、さあ精算しよか。ちょっと待て、

今度拵える文学賞の一つにお前さんの名前付けるからさ、それで麻雀の負けをチャラにしろよ、

直木賞だぜ、なあ。 #twnovel

:

Chapter②

三十五

菊池が捨てた白（はく）を鳴き返して、次順、發（りゅうは）を暗槓（あんかん）、嶺上開花（りんしゃんかいほう）！「自摸（つも）ったよ、菊池の責任払い、逆転だぜ！」「大三元、字一色（つーいーそう）。明槓（みんかん）も一ヶありで、青天井だ」

よせよ三十三、あついまは、三十五だっけな。 #twnovel

:

Chapter③

それでチャラに

『白發』と鳴いて直木、『中』を手牌出し。続いて菊池が切った『中』を鳴き返して大三元を自摸！菊池の責任払いでトップ逆転だ。

「さあ精算しようぜ、菊池」「待ち合わせがねえなら、こんどの文学賞に`オレの名前、を付けるや、それでチャラにしてやるぜ」「なに`直木賞、ってか？」 #twnovel

:

Chapter④

文学史の闇

オマエが負けたら、今度の文学賞にオレの名前を付けるんだぜ。いいぜ、よしやろうぜ、と始まった賭け麻雀、ジャンゴ口擬（もど）きの直木三十五に難なくひねられて大負けした菊池寛。

といった遣り取りから『直木賞』が決まったという、文学史の暗い闇。直木三十五、その作品にいま陽はあたらず。 #twnovel

:

Chapter⑤

まゆつば

直木三十五と麻雀に興じた菊池寛、青天井ルールで負け金が巨額に。払いに窮した菊池、新設する文学賞に直木の名前を冠することで相殺にした。

小説家として時代に乗り遅れていた直木、後世は代打ち雀士として裏世界で暗躍、最期は和了牌（ロン牌）を掴んだまま絶命した、という逸話は眉に唾して。 #twnovel

高松中央図書館：菊池寛常設展示場でデジ撮（写真撮影OK）

再・推敲 #twnovel=Twitter Novel=（≒140字物語）=#ツイノベ



七味唐辛子

競輪場近くに新しくできたセルフうどん店、昼ドキは大賑わいである。レースの合間、外出スタンプを専門紙に押ししてもらって昼食に。

:

キャップを外してひと振り。

瓶からドボツとイッキに吐きだされる七味とうがらし！

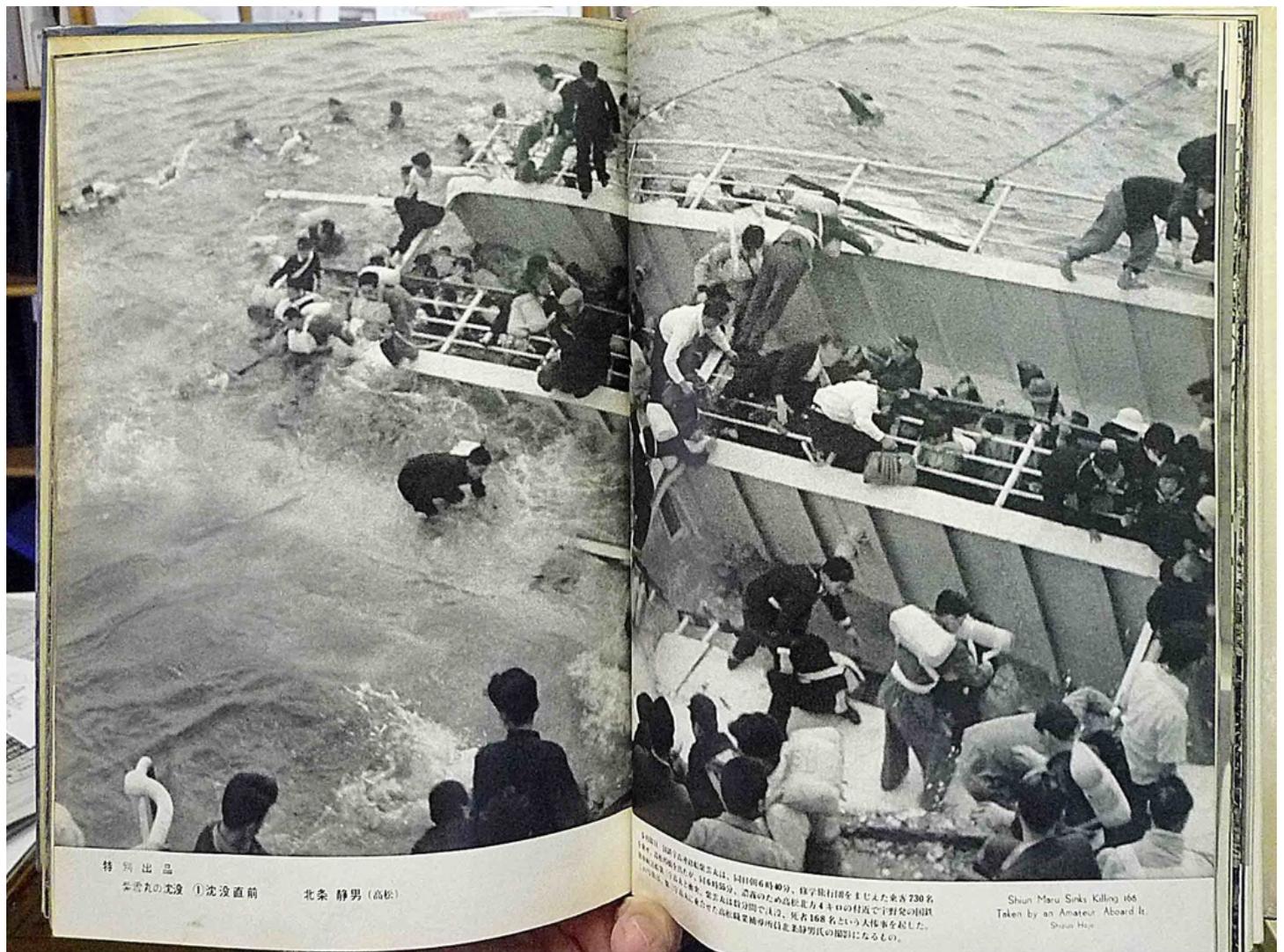
かけうどんの真ん中にまっ赤なスパイスがぶちまけられて、

大噴火で隆起したばかりの新島みたいに燃え立っている。

というか、これどうやって食べようか、お汁（つゆ）まで色づいて。

誰だよ、中ブタ外したヤツ！

再・推敲 #twonovel=Twitter Novel=（≒140字物語）=#ツイノベ
Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



紫雲丸 1956

昭和31年（1956年）の報道写真集。

この年はどんな出来事があったのかと、軽い興味をもって手に取っていた。

と、いきなり見開き、海上で横転したばかりのフェリー客船、逃げ惑う乗客。

下部余白のキャプションに刷られた、

国鉄宇高連絡船『紫雲丸』の、かすれた活版文字に息をのんだ。

地元で未だ語られている、修学（小）旅行生が多数亡くなった大惨事、海難事故。

続くページには数日後の引き揚げ写真も載っていた。

：

この頃は、蒸気機関車のレールが船底にも引きこまれていて、

早朝6時過ぎ、修学旅行生は列車に乗ったまま船に乗り込んでいた。

列車の座席にいた生徒たちはその10数分後、

突然の激しい衝撃を感じることになるが、

何ごとが起きたのか、またどう対処すればいいのかわかる筈もなく・・・。

子どものころ、そういった話を大人たちから何度も聞かされた。

また近所に、この事故に遭って泳いで帰ってきたおじさんの話も聞いた。

衝突地点は高松北方4kmの海上、

女木島（鬼ヶ島）近くというから目視できるほどの距離だった。

10数年前に、高松駅まわりは再開発されて様変わりしている。

今だと女木島は、サンポート高松の海際から指呼の間に感じられるが、

普通の人が泳いで渡れる距離にはとても思えない。

泳いで帰ってきたおじさんは海軍復員兵だったのか、などと想像したものだ。

：
身近で悲惨な海難事故が起きただけに、

乗り合わせていた人たちが撮った写真が地元で多数残っているようだ。

紫雲丸船長が最期、船室（もしくは操舵室）に閉じこもるまで同行していた、

写真家（高松市）による一連の写真が地方紙に掲載されていた。

写真家の彼は『報道（写真として記録）か、

人命救助（船と運命を共にしようとする船長を説得）か』といった、

相反する命題にその後もずっと悩んだと、その記事に書かれてあった。

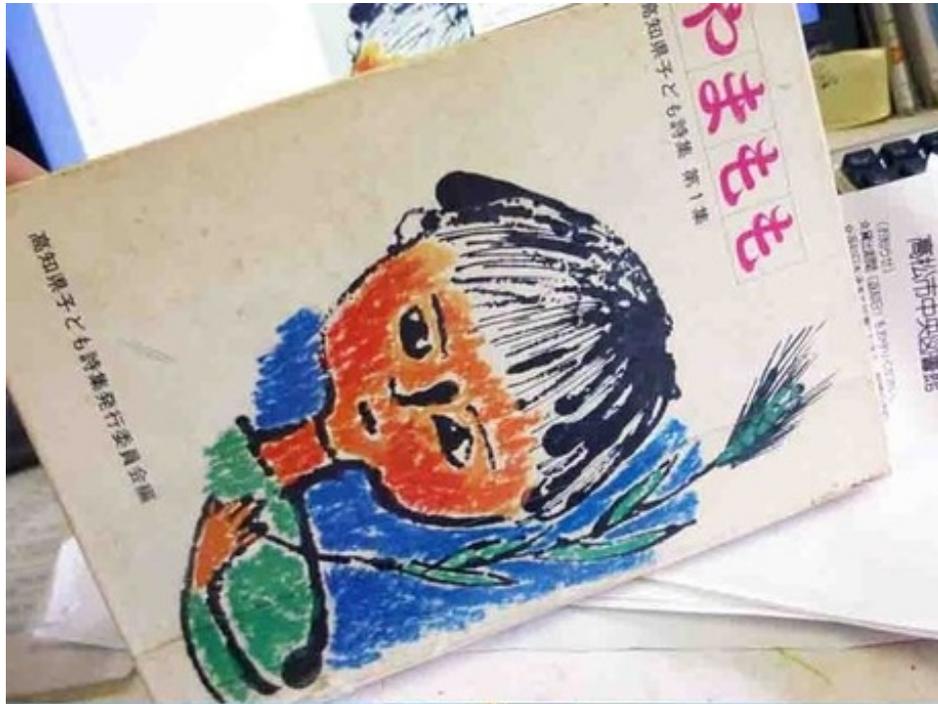
ちなみに写真家は、

報道カメラマンでなく写真館オーナーだったと記憶している。

：
朝日新聞 報道写真傑作集 1956

Photoは上記写真集から無断転載。不可の場合はご一報を。

40年前の一篇の詩



うんこが もれたこと
立川小二年 永野

かえりしに
「ぶちゅう。」
と音がした。
おならかと 思った。
また、ずんずん かえりよったら、
うんこが
「ぶつん。」
ともれた。
きゅうに もれたので、
しりが おもかった。
そして、
またを あけて
ぶらぶら かえた。

40年前の一篇の詩

久しぶりに小学生たちが地の言葉で綴った詩、高知県子ども詩集『やまもも』が読みたくなって図書館で予約して借りてきた。

高知弁だとなぜだか活字が、気持ちにスムーズに沁みってくるのだ。

この詩集は「高知市立図書館」と「高松市立図書館」の間で『相互貸借』されている。

とすると高松からも菊池寛賞受賞作の朗読CDとか、

郷土資料などが往き来しているのかと。

受付をお願いしてから一週間足らずでメールのお知らせ、

届けられた『やまもも』を手にとって表紙を見ると・・・なんと、第一集だったよ！

1977年（S52）発行、貸出表の最初には52.9.27のスタンプが。

掲載はいまから39～40年前の小学生の詩、

この時2年生だともう50歳近いということになる。

この小学生が昔の詩集を読む機会があるとすれば、

懐かしさを通り越して恥ずかしがったりして・・・はともかく大事に読まんと。

：

最初に目に留まった、とても素直で

私にとって `デジャブ感、（既視感）*がある一篇の詩をチョイスしてみた。

* というか、朧気（おぼろげ）な記憶の断片が甦（よみがえ）る、といった。



迷子になった黒木華

...ここはどこなの？ここはどこですか？

自分が今、どこにいるか分からないんですけど、

どうしたらいいですか？

：

黒木華の迷子感が半端なくリアル、身につまされる。

彼女きっと、方向感覚の欠如した女性、もしくは、

帰巢本能がないといった性格設定なのだ。

邦画『リップヴァンウィンクルの花嫁』（2016）

予告篇2 <https://www.youtube.com/watch?v=vqy4J9gfBcY>

:

迷子になる人は、地図を見ない、地図が読めない。

インプットされているのは『出発点』と『目的地』と『一本の道すじ』だけ。

ちょっと脇道に這入り込むと、途端に右も左も分からなくなる。

:

某短編小説の抜粋

彼らは地図を見ない。あるいは見ても、理解できていない。そして運良く地図が理解できても歩きだしたが最後、自分がどこを背にしているか失念する。

東西南北がわからないのは当たり前。さらに駅や幹線道路といった目印を把握しないのも当たり前。彼らは目的地と自分のいる地点のことしか考えないから、一本でも道がそれたら迷ってしまう。

ではなぜそんな状態で家を出ることができるのか。私だったら行き先の地図を眺め、目的地の周囲までをおおよそ把握してからでないとは出かけられないものだが、彼らはそんな状態に一切臆することなく外出する。そして迷いながら私の倍以上の時間をかけて目的地に到達するのだ、まったくもって非合理的かつ非論理的である。

しかし道に迷う人々を観察していると、ある共通項が見えてきた。それは「道に迷う者は好意を抱かれやすい」ということだ。

夫はだれだった



「ひとめぼれ」ヤミで 発死前に長崎で出

「ひとめぼれ」のヤミで、発死前に長崎で出たという噂が、山森の死に関与しているのではないか、と関係者から聞かされた。山森は、長崎県佐賀市で、山森の死に関与しているのではないか、と関係者から聞かされた。

夫はだれだった

男の嘘が原因で、山森の死に関与しているのではないか、と関係者から聞かされた。山森は、長崎県佐賀市で、山森の死に関与しているのではないか、と関係者から聞かされた。

名前山森 50歳 京都生まれ 医師 自称

山森は、京都生まれの50歳の医師と自称している。山森は、長崎県佐賀市で、山森の死に関与しているのではないか、と関係者から聞かされた。

5月病死と 戸籍も勤務先も「ウソ」

山森の死に関与しているのではないか、と関係者から聞かされた。山森は、長崎県佐賀市で、山森の死に関与しているのではないか、と関係者から聞かされた。



選 天宮山女子テニス部、山森の死に関与しているのではないか、と関係者から聞かされた。山森は、長崎県佐賀市で、山森の死に関与しているのではないか、と関係者から聞かされた。

非常に残念な事態／もう一度チャンスをも二度と起こさ

山森の死に関与しているのではないか、と関係者から聞かされた。山森は、長崎県佐賀市で、山森の死に関与しているのではないか、と関係者から聞かされた。

完全失踪事件からインスパイアされて、映画『嘘を愛する女』が製作された。

キャスティングもいま人気と実力の「高橋一生」と「長澤まさみ」、

ミステリアスなモチーフといい、

これはヒットしそうな予感が・・・と製作サイドの思惑(おもわく)。

だったらシナリオから小説版を拵(こしら)えて、

プロモーション・ミックスを仕掛けよう、いや他にもいろいろやるのが。

ちなみに映画は2018年1月20日に公開されて、人気上映中。

小説の方も15万部販売（よく知らない）と、かなり売れているようだ。

レビューはというと★★★★（星3.2〜）と、ちょっと微妙。（五ツ星フルマーク）

：

近ごろマイタイムライン（Twitter）が、

映画と小説版『嘘を愛する女』の話題で賑やか、

小説版を担当した「岡部えつ」女史をフォローしているので、

続々と彼女からの関連タグ付きリツイートが発信されてくる。

そのタグの一つ、「#嘘愛」をひょいと手繰ってみるとこんな記事に飛んだ。

PDFを拡大して読んで吃驚（びっくり）！まるで松本清張の推理小説。

・・・で、記事の続報というか後日談、あるの、ないの!?

：

[朝日新聞公式Instagram▼](#)

「夫はだれだった」。

1991年11月4日の朝日新聞朝刊社会面（東京本社版）。

この見出しの記事から着想を得て、映画「嘘（うそ）を愛する女」が生まれた。

：

考えることは同じだな。5ちゃん（2007年）にこんなスレッドが立っていた。

1991年11月4日の朝日新聞（三面記事）に『私の夫は誰だった?』という記事が・・・その後10日ほど3面記事を調べたが、続報はありませんでした。どなたかこの事件の続報をご存じないでしょうか？

1 : ibm_111 : 2007/08/21(火) 18:59:30 ID:E1YqZMhp

当時私は小学生だったと思うのだが、

朝日朝刊の三面記事を読んでいると、妙な記事があった。

「私の夫は誰？」

ある男が死んだ。

奥さんが、男の勤め先と聞いていたところに行ってみると、
そんな人はいないという返事。調べると、名前・職業全部ウソ。

その後、10日ほど3面記事を調べたが
続報はありませんでした。

そこで、検索してみると出てきますね。

「1991年11月4日の朝日新聞に「私の夫は誰だった？」という記事が記載された。」

どなたかこの事件の続報をご存じないでしょうか？

2 : 名無しさん@お腹いっぱい。 : 2007/08/21(火) 22:10:56 ID:???

興味あります

知ってる人いませんかー？

9 : 名無しさん@お腹いっぱい。 : 2007/08/22(水) 07:46:30 ID:???

完全失踪マニュアルで本で紹介されてた記事かな
近くの図書館にあった。探してみる。

11 : ibm_111 : 2007/08/24(金) 22:38:44 ID:/AatUrOe

借りてきた。

それっぽいやつないんだけど。

冷静に考えて、この事件は失踪じゃないし。

まあ、この本の内容が面白かったから、いいんだけど。

12 : ibm_111 : 2007/08/28(火) 07:38:52 ID:???

見つけた。

男は京都生まれの、浜松医科大胸部外科助教授と名乗っていた。

世田谷区で同棲。

その後の調査でもまったく素性は分かっていない。

全身に末期がんが転移していてもなお、同棲相手に自分の身分を隠し続けたのだから、
すごい精神力の持ち主だ、と褒められてるw

まあ、結局、この男は謎のまま死んだ、ということですね。

14 : 名無しさん@お腹いっぱい。 : 2007/11/20(火) 16:33:42 ID:???

ああ、浜松医大事件ね。

ワイドショーでも取り上げられてたよ。

いま考えると、医者を詐称するいかさま男にホイホイと引っかかってしまった妻の脇が甘いというか。

:

映画【嘘を愛する女】・・・ネットには「原作との違いについて徹底検証！」

「あらすじ・ネタバレも！」といった記事が数多くアップされている。

映画館には行かないが、DVDがリリースされたら観るつもり。

それまでそういった類（たぐい）のモノは決して読まない

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



初めて歌集をひらいた日

どうよこれ？と、

ヒネ小姓の二つ名*を持つ男に差しだされたハードカバーの新刊本。

手にとって中ほどのページを開くと、

ひどく行間のあいた縦書き文章*が見開きにわたって並んでいる。

なに？右から左へと行を追って読むが、何を書いているのか皆目。

行のひとつ一つは理解できるのに、

まるで意味が繋がらない、その時の焦りようと云えば・・・。

：

当時のベストセラー、

社会現象にまでなった歌集『サラダ記念日』（1987）だった、俵万智の。

といったことを、一昨日ふと思いだして図書館ネット*で予約、

持ち帰って歌集をひらくと、また。

なに!？すべて外国語だ、横書きだ、英語だ。翻訳本と間違えてしまった！

その日のうちに再予約したが、なるほど、平易な言葉を紡ぎ合わせているから、

翻訳しても齟齬（そご）がなさそう。

*あだ名、ニックネーム

*ページが特定できた、既視感満々な「58～59P」、見開き6行。

*高松市中央図書館

例えばLOVEの読み方



例えばLOVEの読み方

7月4日（独立記念日）。

ホワイトハウスが北朝鮮テロリストたちに襲撃され、大統領など閣僚が囚われた。

テロリストによって全米に配備されている核ミサイルの自爆システムが作動、

自爆まで3分という場面で、

電話指示で15桁におよぶ解除コードを打ち込んでいくタフガイ。

N（ノーベル） I（インディア） L（リマ） 5（ファイブ） O（オスカー） H（ホテル）、 b a c k s l a s h（バックスラッシュ） 9（ナイン） V（ヴィクター） K（キロ）、 h a s h t a g（ハッシュタグ）

「なんだって？」とキーボード上を指が泳ぐ！

「シフト3よっ！」 「そう言えよ！」

あと3秒というところで発射コードが解除された。

映画を観終えてキーボードを探したらあったよ、

英数字3のキーに `#、（ハッシュタグ）が！

#（シャープ）とは別記号であるを知ったのはT w i t t e rで。

洋画『エンド・オブ・ホワイトハウス』（2013）

：

米軍ではアルファベットすべてに読み名を決めているが、

その伝でいくとL O V Eの読みは

「リマ、オスカー、ヴィクター、エコー」ということになる。

ちなみにL i m aはペルーの首都名のような。

原節子の『紀子（のりこ）三部作』



原節子の『紀子（のりこ）三部作』

「幸せって楽しさの装いよ、競馬に出かける前の」

・・・これ、装いなのか、粧いなのか。

『麦秋』での原節子の台詞だから“粧い”かと瞬間、

脳内変換したが本当はどっちなんだろう。

小津安二郎監督『晩春』（1949）、『麦秋』（1951）、

『東京物語』（1953）ともに原節子の役名は“紀子”（のりこ）、

紀子三部作とも言われている。

これで、期せずしてすべてを観賞したことになる。

原節子は1929（昭和9）年生まれ、43歳で引退、

2015（平成27年）、95歳で逝去した。

その昔、ハリウッド映画を観慣れていた頃は、

小津監督が得意にしていた“反復カットと台詞”に辟易していたが、

何本も観ていると慣れるものだ。

会話のテンポのゆったりとした緩さが、映画に集中させてくれる。

また麻雀全盛だった当時の世相も反映して、

『晩春』ではこんな反復台詞も。

その都度カット代わりするのはもちろんのことだが、

「やっぱり、嶺上開花（りんしゃんかいほう）は

自摸（つも）が付かないんですよ。ですから8本16本で、

ボクのトップだったんですよ」

「あ、そうかね」「そうだったんですよ」「そうか、そうかね」

といった具合に。

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

思い出トランプ



向田邦子の『思い出トランプ』

昭和55年（1980）度直木賞受賞、

NHKドラマ『思い出トランプ』（向田邦子原作 1980）。

「一人の女の中に違う女が何人もいるからね、

でもその一人も分からないよ、自分のことだって」（田中裕子：小林薫の妻）

一人の女の中に棲む何人もの女をトランプの顔に例えて語る。

茫漠とした不安を「私はどうしてここにいるんだろう・・・。

何かの抽選に当たってここに座っている、といった家族」と、

田中にモノローグさせる。

向田邦子は生涯独身だったが、こんな卓越したセックス表現が、

曰く「女はあの時、瞼の裏に赤い火花がでるって本当かな、

虹がでるっていう」（岸部一徳：医師）

「火花や虹が（を）見たことないけど、

入場券みたいになったことはあるわ。むかしの赤い線の入ったやつ」

「あの時、目を瞑っていると暗いなかで、躰に赤いスジが走ることがあるの」

「幅5センチの赤いスジが、腿（もも）の内側の真ん中の辺りから、

両脚の足首に向かってゆっくり走っていくの・・・、

あの赤いスジが」（田中裕子）

淡々と喋るセリフながら凄い表現じゃないかと、ビデオを巻き戻してメモ。

さらに特筆は、小林薫に囲われる水商売の女を演じている

洞口依子（どうぐちよりこ）、ワタシには初顔だったが斬新な演技。

：

余談だが、原作の向田邦子は51歳で飛行機事故に遭って夭折、

かたや母せいは100歳で大往生。

母にしてみれば娘と寿命を半分こしてあげられたら、と思ったかどうか。

：

1964年東京オリンピックの年に実家を出て独立した下りは、

朗読エッセイにも収録されていた。その辺りから、

漫画『サザエさん』の長谷川町子と同世代のように思えたが、

調べてみると九つ年下だった。

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

とらやのようかん



とらやのようかん

「トラヤ、ゲット〜♪」

「（嫁いだ娘家族の母屋に）いつもの家庭用カレンダー*持ってったら、

虎屋の羊羹（ようかん）くれたわで」と、妻（さい）ご帰艦。

お家では昨日からなんでか、虎屋の話に沸いていて・・・偶然の重なりか、

それとも年の瀬だからお歳暮のお裾分けだったのかしらん。

*妻（さい）が友人から貰った家庭用カレンダーを3〜4点、タマも大きく、予定の書き込みができる大判タイプ。バブル崩壊からこっち、年々、広告カレンダーが配られなくなって、文具店などで買うモノになりつつあるようだが、なかなかそこまでは。

:

虎屋の羊羹というと、ちょっとした悔いを遺している思い出がある。

父生前の、20年ちょっと昔の話。

掛かり付けの町医者で、年に一度のレントゲンを撮って胃ガンが見つかった。

すぐ系列の総合病院を紹介されて、胃カメラ、CTなどの細密検査。

胃ガンは進行、すでに方々へ転移していた。余談だが当時は告知をしなかった。

その理由が「自殺する人もいますから」と、“なぜだか”釈然としないモノ、

今から考えると、

人間の尊厳をないがしろにした医師の逃げ口上、もしくは・・・。

といった経緯があって、数日後もしくは10数日後には12時間におよぶ手術。

術後「これは手術をしなかった方が良かったという例かも知れませんね」と、

回りくどい言い回しをしたこの外科医は、なにしろ団塊世代、

在学中ついで見かけたことのなかった私の学年の同窓生だった、

という余談まで付いていた。

胃ガンは当時流行りの病（やまい）、胃ガンノイローゼという風潮まであった。

越路吹雪もサザエさんの長谷川町子も手塚治虫も胃ガンで亡くなっている。

それはともかく、それからしばらく普通に生活をしていた時のこと。

父母と妻（さい）の四人で団らんしているときに、

父が「虎屋の羊羹が食べたいゾ」、と言う。

「なんやトラヤって、それ三越に売っているのか、

そうか、こんど買ってくるわ」と言ったままになっていた。

その時まで、私は虎屋の羊羹なるものを食べたことがなかったから、

頓着（≡気にかける）しようにも姿カタチがイメージされない、

でその内に・・・早い話が、忘れてしまったということだ。

あの時、買っていれば、といった悔いと、

食べられていたのにといった食い意地が、ない交ぜになってよみがえってくる。

妻（さい）に言わせると1～2年前に一度、

虎屋の小さいのをひとつち（！）食べたことがあるらしいが、記憶にない。

おそらくこれが生涯最初で最後だった筈だから、

貰った虎屋の羊羹、味を噛みしめながらいただかないと・・・。

：
閑話休題。

ある家族にお歳暮が届いた。

一人留守番をしていた小学生の次女が受けとった。

パッケージから虎屋の羊羹（ようかん）だとすぐ分かった。

しばらくしておばあちゃんが帰ってきたので渡すと、あらまあ♪と笑顔に。

いただき物の甘味の類（たぐい）は、

お仏壇にあげたあとみんなでお三時にいただくのが、この家の常。

愉しみにしていたが、翌日も次の日も出てこない、話にもあがらない、

もしかするとワタシが留守の間にみんなで食べてしまっていたのでは。

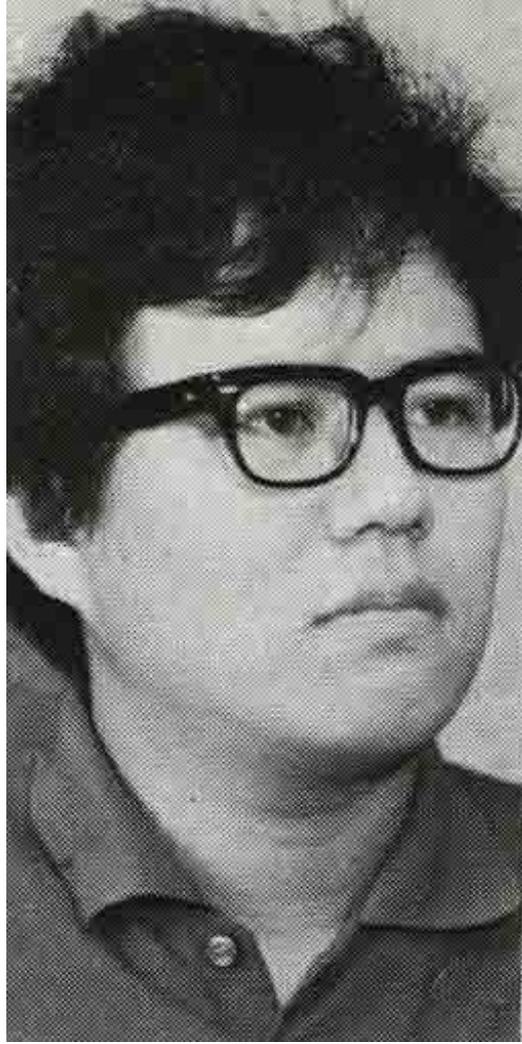
心配になった次女は長女に訊ねた。いやそんなものは出されていないわ、と。

とするともしかして、おばあちゃんが一人で食べちゃったの？

時として羊羹（ようかん）は疑心暗鬼のツメを搔きたてる。

モノがトラ屋だけに。 [#ツイノベ](#)

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



てつや君

漫画『あしたのジョー』のカバー裏、

作者プロフィール*を見て「おおっ！」・・・その昔、

私のあだ名が瞬間的に『てつや君』だったことを思いださせた。

こんなモジャ頭ではなかったが。

*正確には、昭和53年（1978）に発行されたコミック（KC）誌『あしたのジョー：1』のカバー中折れ。漫画家ちばてつやの横には原作者の高森朝雄（梶原一騎）が悪人顔で紹介されている。

昭和8年（1933）の高松市街図



昭和8年（1933）の高松市街図

図書館の企画展で、昭和8年の高松市内住宅図が拡大して貼り出されていた。

ここに引っ越してきたのがほぼ40年前、

その時代、現在のわが家の敷地には何が建っていたのか、ご近所は？

などと、『二番丁小学校』を目印に探したが分からなかった。

もう一遍行って手繰（たぐ）ってみんと・・・とりあえずサイトへ行くと。

二番丁小学校（新番丁）のポリシーがいい、シンプルにして愛がある！

児童像

考える子

やさしい子

元気な子

：

できょう、予約DVDが用意出来ています、と図書館からメール。

午後になって受け取りに行くと、

拡大市街図の前で一人おばさんが覗きこんでいる、

その横で同じく覗きこもうとした私に

「どこでしたかしらね、『姥ヶ池』（ばあがいけ）」

「さあ、墓地の下一帯の盆地みたいな土地やけど、

昭和8年はまだ埋め立てしてなかったでしょ？」と、私も一緒に探した。

栗林公園から手繰って行って、

それらしき場所に池が一つ、大きな穴を開けているのを発見、

周囲（西手）は田んぼばかりだ。「多分ここでしょうね」と私。

「当時、高校（明善）前駅とかがあって、電車が走っていたんですよ、

記憶にありますね、コトデンでなく」と件（くだん）のおばさん。

しかしこの地図、探し当てづらいと思ったら“南が上”じゃないか。

ちょっと身体を捻（ひね）って、頭の中で“海を上”に置いて考えるよな。

：

ネットに地図データがアップされていた、拡大もOKだ！

香川県立図書館デジタルライブラリー【高松住宅明細地図】昭和8年

<http://kagawa.digilib.jp/sonota/ezu/detail/DE00610.html>

歴史年表

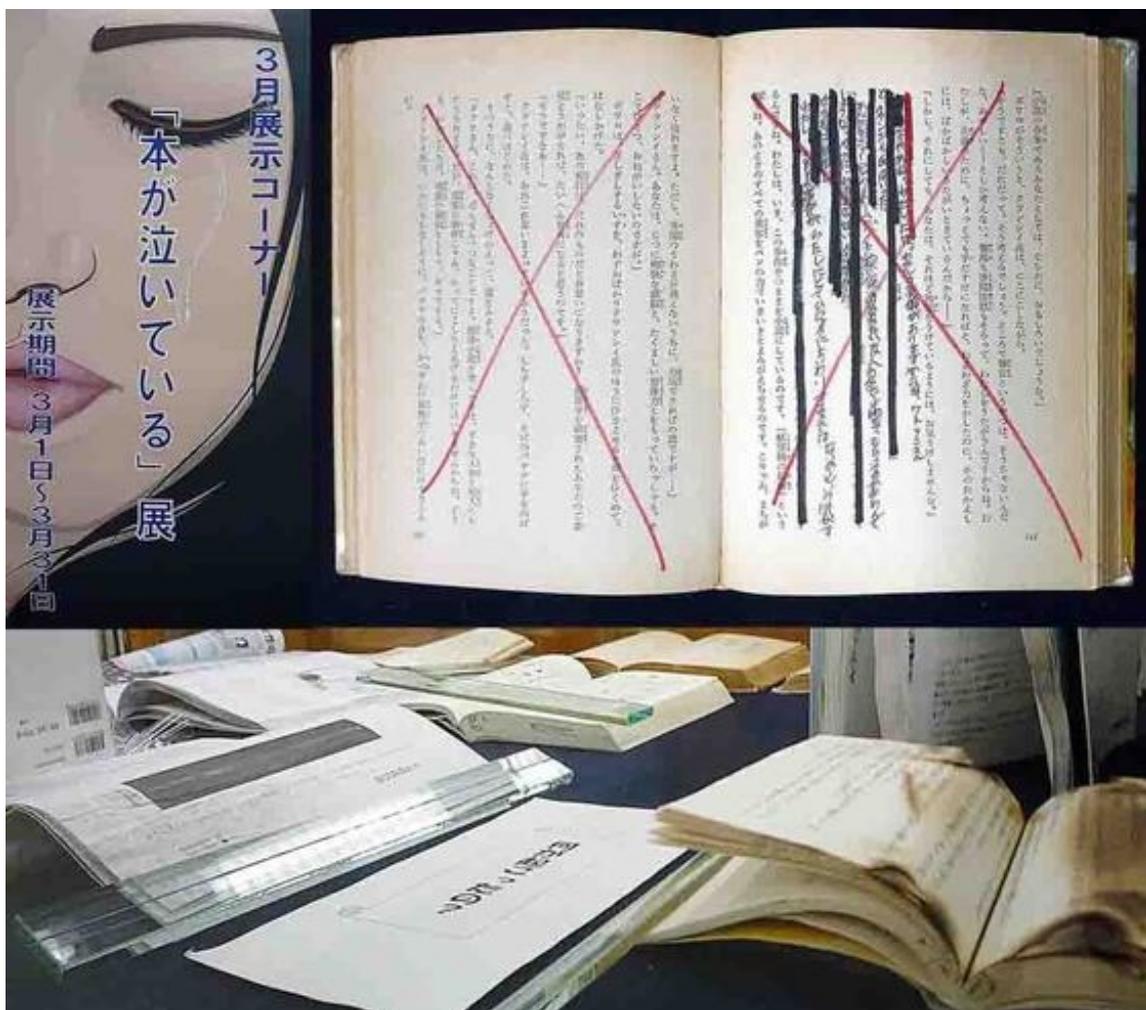
：

昭和6年 満州事変

昭和7年 上海事変、満州国成立、五・一五事件

昭和8年 国際連盟脱退

本が泣いている



本が泣いている

全国一円に、春イチバンの生あたたかい風が吹きすさぶなか、

借りていた本を返しにやってきた図書館では、

『本たちが泣いているッ！』といった恒例の企画展が始まっていた。

二つの大きなガラス展示箱には、

千切る、書く、消す、焙（あぶ）る、漬ける、晒（さら）すなど、

なにこれ!?といった、

本たちが受けた残虐非道な受難の数々が、所狭しと並べられている。

なかでも特筆は、犯人像もプロファイリングし難い、

校正マン（もしくは作家）を気取ったお莫迦な落書き、

ご丁寧に「私ならこう表現する」*と、下手くそな文字で添削された本。

方や、鉛筆でいたずらされた落書き本には、

「1ページずつ確認してケシゴムで消します」とのメモが添えられていたが、

鉛筆でなくサインペンだと、どういうことに!?

・・・というかそういった作業を黙々となしている、

図書館員のお姉さんの苛立つ胸中を慮（おもんばか）ると、

帰途、ちょっと気分が重くなったぞ。

* 右上の蔵書の落書きは、校正、校閲、添削でなく推敲擬（もど）きか。読みづらいが、アガサ・クリスティの『名探偵ポワロ』（雲をつかむ死）の数行を、アーサー・コナン・ドイルの『シャーロック・ホームズ』に書き換えるという落書きのようだ、これは。ワトソンとかシャーロックなどの文字がかるうじて読める。

：

* サンデー毎日に、『校閲至極』という連載コラムがある。輪転機をまわす前の切羽詰まった時間内に、言葉遣いを奮闘チェックする様子が綴られている。・・・と書いたものの、校閲と校正、何がどう違うのか分かっていない。

：

高松中央図書館 2018.3



水辺の記憶

雑草や小枝を巻き込みながら濁流となって激しくうねる満濃川支流、

石橋の上で中腰になってその様子を眺めていた、

数十年前の台風の翌朝の、霞（かすみ）のように遠い記憶。

：

川は、支流と呼ぶにはあまりに狭隘（きょうあい）な、

本流から田んぼ脇へと枝分かれした、溝のような用水路だった。

小さく短い花崗岩の石橋が架けられていたと思うが、

そのときのワタシは1～2歳の幼児。

それが石橋だったか、丸太の橋だったかも甚（はなは）だおぼろである。

記憶に残っていない筈だが、未だに激しい川の流れ、渦巻く濁った水面が、

そしてそれを飽かずに眺めている幼児のワタシの姿が俯瞰される。

煤けた曇りガラス越しに見るような、儚（はかな）げな心象風景だが、

雨のよく降る日やラジオの台風情報を聴いていると思います。

：

すぐ近くに広大な池（写真奥）が広がっている。

池では昔から淡水魚が契約業者によって飼育されている。

鮒（ふな）のみだが、関西方面の川魚専門の料理店に卸されていると聞いた。

鮒料理と云うと・・・鮒のてっぱい、鮒の甘露煮、鮒寿司が思い浮かぶ。

稚魚から育てられた鮒は成魚で30㍍少々大きさになり、

春先、池から田んぼに水を引き入れるときのゆる抜き（放流）で、

一網打尽に漁獲される。

その際、満濃川支流に堰（せき）をして、急ごしらえの`生け簀、にしていた。

狭い川を所せましと飛び跳ねる鮒、

たまに鯉や鯰（なまず）、雷魚、鰻（うなぎ）も混じっていて、

子どもたちや年寄り、大勢の村人たちがはしゃぎながら見物していた。

ちょっとした賑わい、年に一度のイベントのようでもあった。

20～30年前、一帯の川にコンクリート護岸と鉄製の水門を設置したとき、

満濃川支流は閉ざされた。

今見ると、幼児の記憶に反して幅わずか40数㍍のコンクリートの、

雨水も溜まらない役立たずな細い溝でしかない。

蓋をして暗渠（あんきょ）にする計画もなさそうだし、この先どうなるのか。

：

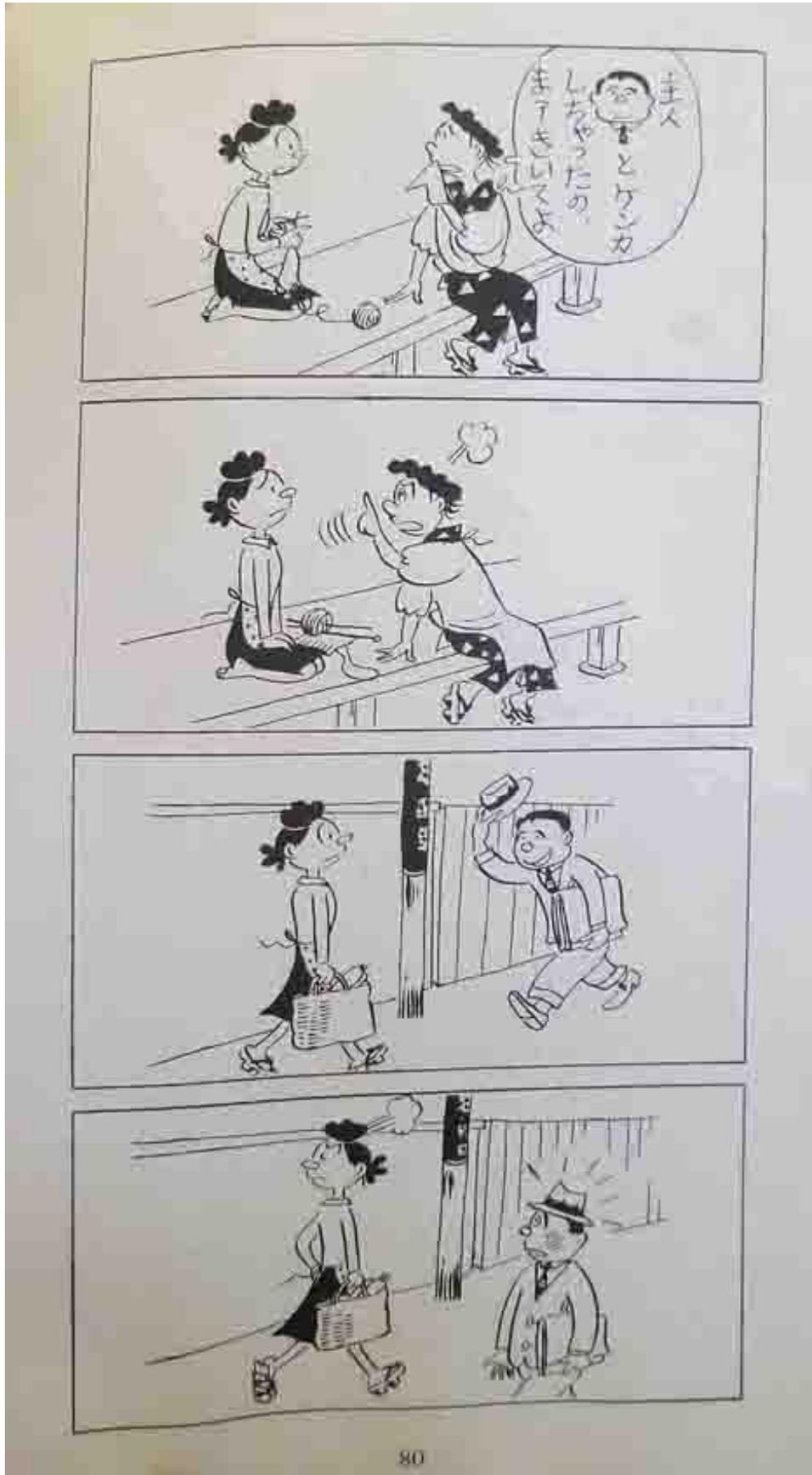
遙か昔の水辺の記憶は、ゆるゆると脳裡を揺蕩（たゆた）っている。

台風で満濃川と支流があふれた翌朝の、

メダカやモロコが凸凹道路の水たまりを泳いでいたこととかも・・・。

水辺の記憶に流れる空気は、いつまでも温かいというか温（ぬる）い。

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



逐一頷（うなず）いていてはいけない。

他人の話信じやすく、また感化されやすい方は特に。

なぜなら謗り話は大方が、憂さ晴らし的な放言、もしくは罵詈雑言、

道に唾スルごときものだから。

その内容は、内輪の諍（いさか）い、個人的なもめ事、口論の挙げ句、

日頃の鬱積のはけぐちなどさまざま雑多入り乱れる。

いずれにしろ人の話は半分、右の耳から聞くのと左から聞くのとでは、

驚くほどカタチ（実像）が異なる。恣意的に話を拵（こしら）えるからである。

:

夫婦ゲンカの愚痴を親身になって聞いたサザエさん、

その帰り道であった喧嘩相手のダンナさんに怒りの態度。

これでしばらく、ご近所の`人間関係、が一つ壊れたままになる。

修復できるのはいつのことか。・・・四コマ漫画は続きを描かない、悪しからず。

漫画『サザエさん』（長谷川町子）には人生の真理がある。

といった著名人がいた、誰だったかは忘れたが、つとに知られた話だ。

インプレッション

この28日間で、ツイートによって2,190,027件のインプレッションを獲得しました



インプレッション *ツイートを見た人

自動的に落とされた一つのツイート (My bot 収蔵) に、ツイッターの平行世界みたいな向こう側から、唐突なモウレツさで反応があった。どこから拡散していったのか、『リツイート』『いいね』にさらに『リツイート』『いいね』がつながって。いちじゅうひゃくせんまん・・・確認しなければならない程の桁数、わずかひと晩で1,000,000のインプレッション(ツイートを見た人)、3日目で2,000,000を超えてなおもジワジワと。どこまでいくのか、し、しらん、(´o`);

トゥギャザー <https://togetter.com/li/1280430>

：
本たちが泣いているッ！

返却にきた図書館では『本たちが泣いているッ！』といった恒例の企画展が。特筆は校正マン(作家)を気取った落書き、ご丁寧に「私ならこう表現する」と、下手くそな文字で添削している。犯人像もプロファイリングし難い、愚行。

高松中央図書館

本が泣いている

マイブログ <https://blogs.yahoo.co.jp/axros03/48267653.html>

：

校正、校閲、添削でなく推敲擬(もど)き。読みづらいが、アガサ・クリスティの『名探偵ポ

ワロ』（雲をつかむ死）の数行を、コナン・ドイルの『シャーロック・ホームズ』に書き換えるというお莫迦な落書きか、これは。ワトソンとかシャーロックなどの文字がかろうじて読める。

：

...それ、恥ずかしいなあ。

ぼそっとSAI。そうか地域住人の民度*の低さを晒されたようで。何と云っても`市立図書館、の蔵書だからなあ。

* 住んでいる人の生活程度など。 * 図書館の落書き



うっふんヴォイス♡で放送禁止

先日、お昼だか午前中だかのNHKラジオ番組でオンエアされた

『黄色いさくらんぼ』（スリー・キャッツ）、

発売当時の「うっふん♡」バージョンそのままだった。

これ確か放送禁止とか発売中止になった音源だ。

そのあと、お色気ヴォイスがミュートされて再発売されたんだよな、

と記憶を辿りつつネット検索。

オンエアされたのは、恐らくこれからも聴けないであろう、

所謂（いわゆる）無修正ヴァージョン版。

「うっふん♥♥」ヴォイスがセクシーすぎる！

NHKラジオのスタッフは番組で、当時の経緯（いきさつ）を知らず、

放送禁止になっているレコ盤をかけた、もしくは確信犯だったとか。

以来、まぼろしの音源を探しているが古いCDにもYouTubeにもない、

ネットのどこにもない。多分、発売当初のレコ盤でしか聴けないんだろうな。

この「うっふん♥♥」ヴォイス、大衆音楽史に伝説として残るグッジョブだ。

作詞／星野哲朗 作曲／浜口庫之助と大御所コンビだが、

お色気ヴォイスの仕掛けはレコード会社の仕業か、時代が後押ししたのか、

悪のりに過ぎた感もありで・・・。

YouTube スリー・キャッツ『黄色いさくらんぼ』（修正ミュート版）

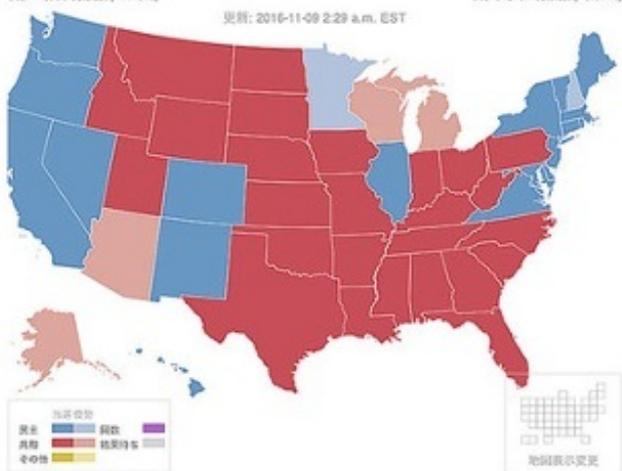
<https://www.youtube.com/watch?v=DRfogTcWCS4>



開票速報

AP

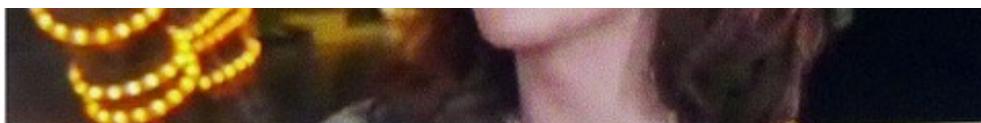
州を選択



US ELECTION 2016
CLINTON 218 TRUMP 278 270 to win

BBC WORLD NEWS 3 VICTORY IN US PRESIDENTIAL ELECTION • TRUMP





米国大統領選の日、お莫迦 Tweet を時系列で（下から上へ）

ある日を境に、工事用のダンプカーが世界各地の道路という道路に純金の塊をばらまき始めた。大型ヘリからもそれこそ無数かつ無差別に。金の価格はいきなり石ころ並みに、というか無価値に、資産家の自殺者続出。といった手塚治虫のコミックを思いだした。タイトルは何だったか。

トランプ大統領誕生で、金価格が上昇・・・て、どゆこと。錬金術師の類（たぐい）だったのか彼は！？

：
メキシコ国境に壁を建設しようとしたが、予算膨大に。「インポシブルや！」と気づいたトランプ大統領、一帯を雑草で埋め尽くして『草結び』『落とし穴』『犬のフン』『肥溜め』を無数に仕掛けた。これには越境者もタジタジ、だれも国境を越えなくなり問題は平和的に解決した、筈だ。#ツイノベ

：
これからは、安倍首相が飴（あめ）と鞭（むち）を使い分けて、トランプ氏を調教していくといひんですよ。とNHKラジオでコメンテーター・・・えっ！？

：
Trump-Pence・・・新しい正副大統領コンビ名だったか。

：
...暗殺されるんちゃうか、トランプ。
...そらないわ、暗殺者を雇う側や、
もうゴルゴ13の上得意になってるで、知らんのかいな。
...知らんわで。
先ほどの、マイサンとの会話（の・ようなもの）

：
大統領選が終わって、任天堂（京都）の株が暴騰する！というデマが燎原の火の如く広がり、草葉の陰で創業者が喜んでいるという霊界話は、どうどすえ。

...なんでどすえ？
...分からしまへんなあ！

...それよか、トランプ遊びしまひよ。

アメリカで『花札』（はなふだ）がブームになる兆しがでていて！？

...なんどす、藪から棒に猪鹿蝶？

:

218（クリントン）対276（トランプ）・・・少しタイムラグのあるBBCネットTV、ようやく確定をした。

:

デスクに座るなりマイサン、Yahoo!ニュースを見て

...当確出たわ！

どーなるんや日本は？

...安倍が向こう行ってトランプに小突かれるんや。

と先ほど、半ドンで仕事場から帰ってきたマイサンと親爺の会話（の・ようなもの）

:

昼寝もできず疲れたわ、こんやは3日前から鍋と決めているのだ、SAIが。

バック・トゥー・ザ・フューチャーの『ビフ』がモデル・・・どうだか知らんけどよく似ているよなあ、ビフとトランプ。

:

1963年（S38）、大鵬対柏戸優勝決定戦で柏戸が勝った。間髪を入れずに「八百長だ！」と叫んだ石原慎太郎（31歳）。よくぞ言った！と思った人が多かったと思うのだが、すぐ謝罪した。・・・石原サン、もっと突っ張れば良かったのに。

方やクリントンさん、開票が八百長だわ、選挙で不正があるのよ！なんて言わないよね。

:

日本の選挙で、絶対安全圏にいても「いや当確ラインすれすれや、落選するか分からんで、気を引き締めて一致団結、決起集会しよう！」・・・などと煽る選対の小汚い親爺、思いだしたわ。

:

激昂してトランプ氏を罵るクリントン支持者、会場に怨嗟の音が渦巻いています。明日になるとアメリカはどうなるのでしょうか、サイレント・マジョリティの台頭ですね、などとBBCの女性キャスター。知らんけどどうなるの・・・こわっ！

:

いまアメリカは午前1時、大統領選挙の夜にシンパシーを感じあう見知らぬ男女、そのままベッドイン&ゴールイン。数年を経て続けてできた5人のベビーたちは出会いの日にちなんで、SPADE、HEART、CLUB、DIAと名付けた。5人目は当然・・・などとお寒いJOKEが勝手に一人歩きを始める。 #twnovel

あそうだ、博多の陥没どうなった？と、日本人がわれに返る午後3時15分。

:

BBCネットTVをずっと観ていてイチバンの美人だった・・・コメントする一般の女性。(一番下のPhoto)

:

USAからUSO(うっそ)に。USO、USO! 悲鳴に似たシュプレヒコールが轟きわたる自民党本部、安倍晋三はトイレに籠もって出てこない。BBC放送はすでにトランプ氏の人となりを紹介している。曰く「ハンサムでいい人、篤志家、アメリカの希望の星だ」などと・・・日和っちゃってるよ。 #ツイノベ

:

みんなに心配されているトランプ氏、って彼の人徳? いや当選したら困ったことに、と心配している人たちのコメント。株安、円高、TPP反対その他・・・“嵐を呼ぶ男”な訳か。BBCネットはまだまだ続いている。

:

ま、またぎゃくてん! ってか・・・209対228、これトカルチョしていればハンディはどうなんだろう、いやまだまだ。もはや昼寝を逸して頭痛が

:

Break the ice なんの映画のセリフか、この時の吹替字幕は「会話の糸口を切る」だった。シーンの流れとしては『意識』だったのだと思う。

Breaking the ice (緊張をほぐす、座を和ます)、Breaking the news (ニュースを伝える)・・・英語の勉強になるなあ。

せっせっせ、せっせんでっせ、せせりこせ～♪♫何の唄だった・・・？

：

大統領選のトトカルチョやってる人たちがいるだろうなあ、こんな面白い賭博はないよ、おいらもしたい。・・・であと何州残っているの、というかアメリカって何州あったっけな、と。

：

コンフュージョンを聞こし召すわ、クリントンぎゃっくてん～♪♫・・・劇的に感じるがあちらでは承知おきなことなの！？昼寝の時間を逸した。どっちが勝って大統領になるのか、皆目わかりません！

：

あ、いまNHKのアナウンサーが『ヒラリントン』と言ったよ！（空耳アワー）

：

TRAMP WINS OHIO オハイオ州のスペルを覚えた、これからはオハイヨなどと言わない・・・オハイオ牛乳を飲もう～♪♫

：

...ここで時間を早回ししてみるからね。（ドラえもん）

SE：きゅるるるう～♪♫（時間が早まわりする音）

...ああっ大統領選、結果が！（のび太）

BBC、早くしてくれ、昼寝の時間だ。

：

オハイオ州でもトランプ氏がリードって、アメリカは貧困層が多数派だったの！？先日のNHKスペシャル『富の分配』（爆笑問題）は、こういうことに起因していた・・・知らんけど。

：

対岸の選挙、おもしれえ！・・・あと24州。（ほとんどおいらには関わりないでしょ、と思っているから）

：

恫喝の効かない相手が大統領に！？・・・金正恩（きむじょんうん）も慌てふためいている？えなに、ドゥテルテも落ち着かない？

：

ぎゃくくてん！クリントン97：トランプ123・・・投票前の、クリントン圧倒的に優勢！の喧伝は、やはりマスコミの情報操作だった、なに！？

興奮の坩堝（るつぼ）、日本の官邸、メディア。

：

大きくリードされたかトランプ！としばらく目を離していると接線に。トランプ66VSクリントン68だよ。（270 to win）

なんかエクスキューズが始まっていないか、政策を決定するのは議会ですから、大統領は誰がなっても・・・などと。

：

スウイング・ステート、投票に揺れる州といった訳か。スウイング・ブレン、ヒートショックに揺れる脳といった訳でいいのか。・・・後半嘘です。

：

S a f a r iでBBCライブを観ながら、F i r e f o xでT w i t t e r。後ろからはNHKラジオ。

女性キャスターの“同時通訳”を離れて聴いているS A I

...なんでそないに変な言い方してるんな、アナウンサー？

...へ！？

：

激戦区といわれているオハイオ州の選挙人が18人であるとか、クライマックスにきて初めて米大統領選の仕組みを理解し始めている。（恥&汗）

：

大方の予想を覆してトランプ氏が大統領に！その時・・・誰が予想していたんだよ、いままでのクリントン優勢報道は、マスコミの情報操作（いじり）だったんじゃないか！？と。その逆も同じことに。

いま19対3だよ、トランプ氏優勢・・・貧乏労働者たちが投票に行くかがポイントだよ、と昨夜のTV。

あ、ネットでBBCライブやってるわ！！

:

アメリカ大統領選挙、出口調査の結果トランプ氏が大統領に決定！と、パラドックス世界ではお祭りさわぎが始まっている。・・・さてこちら側ではどうなんだい！？

:

投票用紙に『Republican_共和黨』の表記。福沢諭吉は知っていた、万延元年遣米使節（1859）に随行した時から、投票用紙に漢字表記があることを。中国移民が多かったのだ。その時アメリカは、第15代大統領ジェームズ・ブキャナン・ジュニア、時あたかも「チェンジ！」大統領選挙のまっただ中だったのだ。 [#ツイノベ](#)

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



吹き替えと字幕の違い

シーン【上】

...あんたが残念がるのは、

有料トイレ使って、

小銭吊した糸が切れた時だけだろ！

シーン【下】

...女は、鬼にならなきゃ

やっていけない事もあるの。

スティーヴン・キング原作だからかセリフが多い、

したがって吹き替えと字幕がかなり乖離（かいり）して意識されることになる。

翻訳はもしかあの女性！？と気になったので調べてみると、

DVD映画の紹介ページのスペックに、翻訳：戸田奈津子、高橋京子とあった。

字幕と日本語吹き替え翻訳は別々の筈なので、

字幕翻訳の方が戸田奈津子だと思うが、

あとの高橋京子の名前がまるでヒットしない・・・んん、よく分からない。

なお本作は、『ミザリー』（1990）でアカデミー賞主演女優賞を受賞した

キャシー・ベイツをイメージして書かれている。

：
アメリカ・メイン州の小さな島にある、富豪未亡人の邸。

そこで郵便配達人が見たものは、血だらけで横たわる女主人の頭上に、

大理石製ノシ棒を手に呆然と立ち尽くす家政婦ドロレスの姿だった・・・。

洋画『黙秘』（1995）

https://www.youtube.com/watch?v=_B4v2-lLuHE

キャリー（1976）とミザリー（1990）とキャシー・ベイツが脳内でコンフュージョン（混乱）している・・・！どちらもスティーヴン・キング原作、キャシー・ベイツはミザリーでアカデミー主演女優賞を受賞、キャリーには出演していず、トラボルタのクレジットがあった。

よすが：身や心のよりどころとすること。頼りとすること。

キャリー <https://www.youtube.com/watch?v=sG2UTWfVxbl>

ミザリー <https://www.youtube.com/watch?v=cWVxFKn7qx4>



産廃犯罪

豊島不法産業廃棄物投棄・・・犯罪である。

豊島は、香川県小豆郡土庄町豊島のこと。

とんでもない歳月と手間と税金を使って処理が終わりつつある事件。

処理には県民の税金も使われている。当事者としては腹立たしい限り。

思わぬ出費で、体育館や保育所、競技場などの公共建物や

いろんなインフラ整備が後まわし、もしくは立ち消えになったんだろうな。

はともかく、この事件には犯人がいるが当初から詳細が広く知らされていず、

いつの間にか事件そのものが風化し始めている。

しかしblog『女医の子育て』に、『豊島産廃』犯罪を綴った著述が残っていた。

昭和50年代～平成2年 松浦ファミリーが産廃を豊島に不法投棄

:

この事件で香川県の行政は機能していず、

兵庫県警が、廃棄物処理法違反で強制捜査に着手。

一部原文ママ

豊島総合観光開発という名の産廃処理業者で、社長は松浦きよ子(妻)、実質経営者は専務の松浦庄助です。妻が社長で夫が専務という、昭和では少し変わった配置ですが、夫に前科があったため社長を妻にしたと噂されています。

blog 『女医の子育て』

http://seppaku.blogspot.jp/2017/01/blog-post_16.html

:

さらにこのサイトにも（毎日新聞）

《記者の目》豊島産廃不法投棄事件

<https://mainichi.jp/articles/20170418/org/00m/070/003000c>

一部原文ママ

「事情を知らない人が見れば、ただのごみの山に見えるかもしれん。けど私らにとっては宝の山や。資源の再利用に貢献しているんや」。豊島の自己所有地の処分場で、実質的経営者の男（後に廃棄物処理法違反で逮捕）はダミ声で、シュレッダーダスト（自動車の粉碎くず）の山を指し、調査団に訴えた。さらに、黒く焼け焦げた硬貨を手のひらに広げて私に見せ、「どや、シュレッダーダストを燃やすとお金も回収できるんや」

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



餌やる連中の`エセ動物愛、

生態までは知らないが、『ドバト』と『ノバト』は鳴き声が違っている。

『ドバト』の「くるっくるう」とエンドレスな鳴き声には、

お強請（ねだ）りされているようでいつも神経を逆なでされる思い。

さらに『ドバト』は害鳥の類（たぐい）、

駅構内や公園、マンションなどに群れをなして飛来して糞害をもたらす。

一方『ノバト』は「デデッデポォ」と環境に馴染んだ耳に心地よい鳴き声。

:

『ドバト』といえば、かなり前のこと。近所の公園で、

自転車に買い物袋などを積み込んだ（一見、浮浪者風の）おばさんが、

『ドバト』にポップコーンなどのお菓子をやり始めた。

結果、ハトがハトを呼ぶ勢いで寄り集まって、またたく間に群れが増えた。

しばらくして、

あふれた『ドバト』のツガイが毎朝、家のベランダにやってくるようになった。

ちょうど寝所の表、早朝から「くるっくるう」と耳障りな鳴き声。

追い払おうとするが少々のことでは逃げない、飛び去ってもすぐに戻ってくる。

そうこうした挙げ句、

電気温水器のブロック台の下に卵を1個産み落とししているのを発見。

その場でベランダから階下へ投げ落とした。

その時私に向けられた親バトの目が恨めしそうだったが、気のせいかな。

事態はその後も変わらず、苛立ちは次第にエスカレート、

エアガン（そもそも持っていない）なんか撃てないしなあ、どうするよ!?

もはや『ドバト』との戦いだ!と、撃退法をネットで探しまわった挙げ句、

2チャンネルの『ハトとの戦い』といった幾つかの過去ログに出会った。

1スレッドで100コメント、

そのすべて読破した結果、見つけたベストな撃退法が

『ベランダをバラ園にして、ヘビを飼う』という奇天烈なものだった。

しかしそれはちょっとムリ、ヘビは拙（せつ）の天敵。

子ども時分に田んぼの畦道でヘビを踏みつけて噛みつかれた!

しかも足に巻き付いて離れなかった!というトラウマをまだ抱えたままなのだ。

ベランダをバラ園にするというのも面倒すぎて不可。

結局『餌をまくおばさん』のデジ撮画像を添付して市役所の担当部署へメール。

しばらくして公園で市役所の担当者と覚しき男性が二人、

おばさんに注意しているのをクルマで通りがかりに目撃した。

それ以来『ドバト』がやって来なくなった、

効果てきめんというかゲンキンというか。

ノラ猫レベルだ『ドバト』は・・・そもそも餌やる人のエセ動物愛が問題なのだが。

:

普通の手と野生の手の違いは・・・？ (Yahoo!知恵袋)

[https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1482556374?_yjsp=6YeO6bOp44Go44Gv ...](https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1482556374?_yjsp=6YeO6bOp44Go44Gv...)

:

先日、久しぶりに

ヤマトフリークのY某ちゃん (Yokoyama) がやってきて、

「屋根置きの“エアコン室外機”に毎朝、『ドバト』が憩いにやってくるんですよ」

「手が届かない場所にフンをするし、五月蠅くて困っています」などと

茶飲み話をして帰ったが、その後日談がまたおもしろい。

「効果てきめん！ここ一週間こなくなりましたよ」と、すっかり安堵した様子。

どうやったのか訊(たず)ねると、

百均で『鳩が嫌うニオイ』と『ヘビのゴム玩具』を買ってきて、

『鳩が嫌うニオイ』は室外機の横に、

『ヘビのゴム玩具』は窓に吊り下げたと答えるのだ。

ニオイは猫や犬避けによくある『忌避アイテム』だが、

ゴム製のヘビが効くとはなあ！

「それがまたリアルなんですよ、ヘビのおもちゃ」

黙れ！そんなもの想像もしたくないわっ！！

：

その後の話をまだ聞いてないが、どうなったんだろう。

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

芋たこなんきんの『タコ』って？



芋たこなんきんの『タコ』って？

『芝居、コンニャク、芋、タコ、南瓜』。

女性の好きなモノを並べた江戸時代の【慣用句】、

川柳や落語*1にも取りあげられている。

井原西鶴（戯作者）のオリジナル*2ではなかったようだ。

そのなかで、

女性の三大好物（食べもの）に『芋、タコ、南瓜』をあげているが、

当時『タコ』*3は高価だったので、いささか無理を感じる。

『タコ』は単なる歯切れの良さとリズム感で並べられたものかと。

甘味という括（くく）りで選ぶのなら、

『芋、クリ、南瓜』の方が明快だと思うが、どうだろう。

：

*1

落語【親子茶屋 狸の賽（さい）の中】で

「女の好きなもんはちゅうたら、芝居、こんにゃく、いも、タコ、南瓜、

とこない言うた、こらみな安い」などと語られているが、

これは江戸以降に書かれた新作ではなかろうか。

* 2

井原西鶴の戯作中に「とかく女の好むもの、芝居浄瑠璃芋蛸南京」とある。

* 3

ちなみに『タコ』は【江戸自慢 三十六興】（浮世絵）に、

「章魚（タコ）は価大いに貴く、貧士の口に入りがたし」と描かれてある。

江戸時代、『タコ』は婚礼の宴席など、ハレの席で食されていた。

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



銀行と無人講

江戸時代、長屋で金を積み立てて順番にお伊勢参りへ。

よく落語で描かれる無人講（頼母子講＝たのもしこう）のお話だが、

その起源は古く鎌倉時代中期（800年前）の相互扶助システムに遡るのだとか。

でその規模が大きくなって組織化されて、

となると政府もほったらかしにはおけない。

という理由で、1951年（昭和26年）相互銀行法を施行して

相互銀行の型ワクに嵌め込んだ。

でまたさらに1993年（平成5年）には、整備諸法を制定して銀行にした。

：

経緯を端折（はしよ）ると、相互銀行（現在は銀行）の前身は、

江戸時代の無人講（頼母子講＝たのもしこう）に遡（さかのぼ）る、

とネットで駆け足学習。

真偽の程は、というか相互銀行自体がすでに存在せず、

で最早どうでもいい話の類（たぐい）になっている。

：

ちなみに四国地区だと

高松相互銀行（寿殖産無尽）、香川相互銀行（香川無尽）、徳島相互銀行（徳島無尽）、高知相互銀行（高知無尽）、愛媛相互銀行（愛媛無尽）、東邦相互銀行（東邦建物無尽）など。

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。



ポコペン

支那語訛（なま）りのような「ちゃんと作たアルヨ」のお料理ツイートへ、
ふと何気（なにげ）にリプライした「おいしそうあるネ、ポコペン♪」。

この“ポコペン”がたちまち謎を呼ぶことになる。

以前どこかで聞き覚えていて使い慣れたフレーズなのだが、

さてそれがどこでとか、誰からということになると思いだせない。

言葉のルーツさえ不明だ。・・・で結局、辿りついた先がWikipedia。

紐解くと日清戦争（1894～1895）から軍隊で使われていた【兵隊シナ語】、

中国人に対する侮称として使われていた、とあるのでかなり古いようだ。

語源は『不穀本 búgòuběn』（そんな値打ちはない、取るに足りない、駄目である）という中国語。〈ぷうこおぴえん〉と発音するのだが、それが〈ぷうこお〉＝〈ぽこ〉、〈ぴえん〉＝〈ぺん〉と訛って、ぽこぺん＝ポコペンになった。

そう説明されると俄（にわか）に真実味を帯びてくる。

とすると中国戦線に兵隊として行った親や当事者たちから聞いたのか、

その昔流行った『二等兵物語』（1955）や

『兵隊やくざ』（1965）などの兵隊映画からだったのか？

犬が戦争に行って出世していくという、

当時人気の軍隊漫画『のらくろ』（田河水泡）は読んだことないしなあ。

いや、子どもの缶けり遊びでも「だーれがつついた、ぽこぺん♪」などと

歌われているとW i k iされていたので、

結局のところ「よく分からないアルね、ポコペン～」となるのだが、

この場合のポコペンは「ダメだね～」という解釈で合っている。

ポコペンは言葉の悪しき生い立ちから、

現在マスコミでは使われていない（らしい）ので死語になりつつあるようだ。

ちなみに、ポコペンではないが語感のよく似た不二家のポコちゃんペコちゃん、

ポコは幼児をあらわす古語ポコ、ペコは東北弁で仔牛をあらわすペコから。

・・・これは余談だが、ポコペンをW i k iしていて、

なんで呼び名がこんなにあるのさ！と混乱したのが当時の戦争の呼び名。

北支事変＝日華事変＝支那事変＝日支事変（1937～1941）、

さらに日中戦争（1941～1945）、その他満州事変、大東亜戦争と混乱する。

日米開戦（1941年・真珠湾攻撃）と同時に事変から戦争に変わったのだが、

それまでは戦争と呼びたくない、宣戦布告をしたくない、させたくないという、

援助各国、中国各軍（蒋介石、共産党軍）、日本軍の思惑と事情があったようだ。

戦争史からしてポコペンなのは、歴史が語っているのだ。

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。

Oh脳!



Oh脳!

謗り愚痴（ぐち）は脳科学にいう `自己攻撃、である。何故なら脳が理解できる人称は一つ、第一人称の `自分、のみ。第二人称の `相手、、第三人称の `モノ、は理解できない。だから、放った `謗り愚痴、はブーメランの如くすべて自分に返ってくる。自己攻撃の無限連鎖である、これはボルテージアップして、自分の脳がダメージを受ける。

:

謗りバージョン

①.他人の悪口を言う ②.脳は主語が理解できない ③.言った悪口が脳内で変換、自分に向けられる⇒被害意識が強くなる ④.上に戻る

褒めバージョン

①.他人を（蔭で）褒める ②.脳は主語が理解できない ③.言った褒め言葉が脳内で変換、自分に向けられる ④.気持ちよくなる ⑤.上に戻る

:

さすがの脳科学～♪♫（というか脳は主語が理解できない）筋道立てて考えると然りもつとも。しかし、政治・経済、はたまた芸能ニュースなども、この計算式に当て嵌まるんじゃないか。憤怒一喜、もはや自製の範疇を超えているのか。だとすると、いまの内閣だと安倍チャンを罵ると、主語が入れ替えられて自分が罵られていると感じるのか、拙の脳は。かなりクワバラ*な話だぞ。

クワバラ=桑原*

- 1.桑を植えた広い畑。桑田。
- 2.「くわばら、くわばら」の形で、感動詞的に。・落雷を防ぐために唱えるまじない。・嫌なことや災難を避けようとして唱えるまじない。故事による。

Photoはネットから無断転載。不可の場合はご一報を。